

平成30年6月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成30年6月25日（月） 17時05分～19時17分
2. 開催場所 日野町役場202会議室
3. 出席委員 今宿綾子教育長、西村吉弘教育長職務代理者
高橋政宏委員、山田めぐみ委員、谷 信代委員
4. 出席事務局員
教育次長 : 望主 昭久
学校教育課 : 参事 山添 美実 参事 吉澤 増穂
生涯学習課 : 課長 日永 伊久男 参事 加納 治夫
図書館 : 館長 高浪 郁子
子ども支援課 : 課長 宇田 達夫

今宿 教育長	ただいまから、日野町教育委員会定例会議を開会します。
	教育長 経過報告
今宿 教育長	私から主な経過を報告させていただきます。 まず、議会につきましては、詳しくは次長から報告がございますけれども、1日が開会、本日が閉会でございます。今日は副町長の人事案件がございまして、昨年度まで教育次長をお務めいただいております高橋さんが就任いただきまして、明日承認式が行われます。まずは報告させていただきます。 また、一般質問は教育委員会に今回数多くいただきました。1つには、公民館の補助金のあり方から体制についてのご質問をいただきました。日野町では、7つの地区でそれぞれ特色ある活動に取り組んでいただいておりますのでございますけれども、体制として、主事さんが町雇用であったり地域雇用であったりと入り混じっていたり、また運営協議会とか運営委員会の組織のあり方・役割、館長さんの権限や責任といったこと、それぞれの館での動きがしっかりと説明していけるような仕組みとなっているかというご質問がございまして、これが日野町ですと続けられてきたことで、正しいやり方であると思っておりますが、もう一度、課題があるかないかということについて協議をしていきたいと思っております。 また危機管理の面でございますが、甲賀市の側溝での事故、新潟での不審者による事件がございまして、大人の目が届かないところでの子ど

もたちの登下校での安全についてのご質問をいただいたところでございます。今回のブロック塀の崩壊につきましても、重なるところがあるかなと思っております。

それと、学校施設面での安全についてのご質問もございました。他山の石としないで、しっかりとした対応をしていくことが必要であると思っております。

それから、幼稚園・小学校の通学区柔軟化モデル事業が始まりまして9年が経ちました。その成果と課題についてのご質問をいただいたわけですが、現在20人弱で、ここ何年か推移をしております、一定ご理解もいただき、周知もされ、成果も見られるのではないかなと思っております。しかしまた、本来通学する学校の学級数の減少が心配されるという状況も出てきたところがございますので、しばらくはモデル事業として推移を見守りたいという答弁をさせてもらっております。

また、成人年齢の引き下げによる成人式の取り扱いはどのようにするのかというご質問がございまして、先日、国会でも法案が通ったわけですが、政府は検討会で成人式の時期やあり方について議論がされるということでございます。国からの方針ですとか、また近隣自治体での動向などを踏まえて、町でもあり方を検討していきたいと思っております。

また、虐待で5歳の子どもさんが亡くなったという大変悲しいことがあり、このことについてもご質問がありましたが、特に子ども支援課と関係課の方で答弁をいただいているところでございます。

これらいただいたご意見は、すぐに解決できなくても、しっかりと受け止めて今後の課題として研究していきたいと思っております。

また、6月の行事につきましては、6月2日に文化懇談会の総会がございまして、日野商人館の満田先生の講演が研修会がございました。その中で、しっかりと地域の歴史を知ることと、そしてまた周りの方にも説明できるようにすることが大事であるということが話題になっておりまして、着実に地域の方が主体の活動が進められていると感じたところでございます。

また、6月6日、教育相談センターの臨床心理士の先生方と学校教育課の職員との懇談会を行いました。特に就学指導の充実については話題になりました。また、不登校や学業不振などの課題も心配されるところでありますので、しっかりと連携しながら進めていきたいと考えています。

また、6月4日と22日でございますが、滋賀県教職員課の人事主事訪問がございまして、第1回の訪問になりますので、転入者の定着状況、各学校の人事のバランス等について、実際に見ていただきまして懇談をいたしました。

また、7日に夏休みのチャレンジ教室の打ち合わせを行いまして、これも4年目を迎えるわけでございますが、対象者についてや子どもたちの学力補充、自主的な学びについて協議しました。今年も進めていきたいと思っています。

また、15日は町内音楽会ございまして、校内音楽会のあと開催したわけでございますが、委員の皆様方にはご鑑賞いただきまして、ありがとうございます。大変素晴らしい音楽会だったと喜んでいただいております。

また翌日の16日でございますが、日野町の福永晃仁さんが日本青年団連合協議会の会長に就任され、祝賀会がございまして、出席をさせていただきました。このような会の会長職というのは本当に素晴らしいことで、また今後の活躍を期待したいところでございます。

また6月21日から23日にかけて、桜谷小学校区の東西の公民館で通学合宿をしていただきました。私も顔を出させていただきました。ちょうど両公民館ともに夕食の準備の時間帯だったのですけれども、本当に地域の方々がたくさんお集まりいただき、協力をいただき、素晴らしい活動だと思っております。

それから今後でございますが、明日の26日は青少年育成町民会議の総会がございまして。

26日・27日は、昨年も行いましたスマホに関する啓発の授業を、各小学校で行う予定です。

28日は支援学級の子どもたちを対象にしました仲よしキャンプが、グリム冒険の森で行われます。

29日は町村教育委員会連絡協議会の総会がございまして、委員の皆様方、よろしくお願ひしたいと思います。

そして、ちびっこ水泳教室の開講式が29日でございます。

以上、このような予定で進めたいと思っております。

~~~~~

**日程4 経過報告 質疑**

ただいま経過報告をいたしました。ご質問などございましたらお出しいただきたいと思っております。

今宿 教育長

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>高橋 委員</p> | <p>議会の対応ご苦労様ございました。次長さんから説明がありました。その中で、議員さんが通学路の安全対策について質問されて、答弁されておられます。私は西の方の係ですので見ていますと、西の方では駐在所のところ、307号のところとダイフクのところの横断歩道、あそこが現実に適合していない、あるいは東の方では柵でしたか、とりわけ今度行政懇談会がありますので、その時に意見があがると思います。</p> <p>少し話が変わりますが、地震の対応も速やかにしていただきまして、ありがとうございました。今、プールがあるわけですが、私、毎年言っていることだと思いますが、プールというのは学校の敷地の中にあるのが普通だと思うのですが、日野中の場合は、敷地とプールの敷地は別々にあって、真ん中に道路がありますね。あそこを学校の敷地にしてほしいということは以前から言っているのですが、どうしてもそれは法律上できないということで、今はどうなっているかわかりませんが、プールのあるとき、あそこで事故があったら大変なので、職員が出て誘導とか、あそこを通られる車の方々へゆっくり行ってくださいというお願いをしたこともあるわけですが、なかなか難しいと思うのですが、道路を中学校の敷地にしていただけると、そういうこともなくなるのだけれど、あそこが公道になっていますので、なかなかそれは難しいだろうと思いますが、以前このことをお聞きしましたら、そんなこと全然知らなかったというようなお話もありましたけれど、ぜひまたそのあたり、別に校長から言われているわけではありませんけれども、危機管理も含めて対応していただけたら嬉しいなと思います。</p> |
| <p>谷 委員</p>  | <p>先ほど鎌掛公民館の利用率を上げたいというふうにおっしゃっていたのですが、例えば何かの教室、手芸体験とかあるのですが、それは他の地区の方でも受け入れされているのでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>望主 次長</p> | <p>中学校のプールのことは、前も違う機会に聞かせていただいたことがございます。町道がちょうど運動場とプールの間に入っていて、もともと体育館・プール・運動場と、体育施設については、同じ敷地にあるのが当然一番いいかと思いますが、当時、中学校ができて体育館と運動場はついてたけれども、あとからプールができたんだろうという認識を持っています。その中で町道を挟んだ向かい側ということになっているということでございます。</p> <p>確かに町道でございますので、簡単にそれを下げて、敷地内とするの</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>加納 参事</p> | <p>はなかなか難しいかなと思うのと、あの道もかなり前からある道ですので、通り抜けされる方もかなりおられますので、そこを止めるというのは物理的に難しいのかなと思います。</p> <p>ただ、今言われたように、当然、校舎から出てプールへ行く時には町道を横断するという形になりますので、その安全確保について先生方にご協力願っているということは大変ありがたいのですが、現実問題として、町道を機能を落として取り組むのは、なかなかあの道についてはあのあたりの生活道路ですから、非常に重要ですので、なかなか難しいという感じはします。ただ、安全確保だけは学校の先生においてしっかりやってもらいたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。公民館の利用率と、部屋の使用率も上げたいということと、地域の方、お年寄りとか老若男女の方々の交流の場ということで何とかしたいなというふうにされたものでございます。</p> <p>よその地区の人が行ってもいいのかという話で、今のところ我々公民館も、地域外の人がいろいろなところに参加していくというのは、そういう交流は進めていきたいと思いますということでお話しております。</p> <p>しかしながら、この手芸教室、次の月ですとグループ大福づくりとなっております。若干費用がかかっています、地域の中での公民館運営費も含まれた公民館費用でされていますので、地区外の人が行く場合に、たくさん来られると費用がたくさん要ってしまうので、参加費のところは若干問題になるのかなと思います。</p> <p>そこに関しては、誰もが参加できるということにするのだったら、費用をどうするかという課題があるのかなと思いますので、またその辺は鎌掛公民館さんとも相談させてもらって、広く参加できるというのだったら、参加してもらえそうな体制をとってもらえればなと思っています。</p> |
| <p>西村 委員</p> | <p>ただいまご報告いただきましたことに関して、4項目質問させていただきます。</p> <p>経過報告の学校教育課で報告いただいた6月26日の蒲生氏郷公顕彰会の総会の件でございますけれども、前回の定例会でも、この顕彰会総会というのは、本来は学校教育課の所管ではないとお話ございました。そういうことではあるのですが、蒲生氏郷公顕彰会自体は、松阪市とか会津若松市等の日野町にとって非常に重要な関係のまちとの友好関係からいきますと、大切な総会であろうと思います。この場合でした</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

ら、生涯学習課あたりが本来は所管の事業ではないのでしょうか。これは質問でございます。

今までから蒲生氏郷公顕彰会の会計を教育次長さんが担っておられると聞いておりましたが、団体の一部の事務を引き受けられる体制が果たしていいのかということにももちろんなってくるわけでございますけれども、あまりその件は深く入らずに、さらっとしたところでお尋ねするところが第1点でございます。

第2点は、通学路の安全の問題で、前回、高橋委員さんから水路の問題についてご意見がございました。通学路の安全に関しましては、大阪北部の地震で大変痛ましい事件が起こり、ご遺族にはお悔やみを申し上げます。焦点はブロック塀であろうと思いますが、学校施設に関しては既に点検済であると伺っています。もう1つは、本日付で各町がチェックをするということで町長から指示されたと聞きました。子どもの通学路自体を眺めてみますと、結構、通っておられる道路には、たくさんのブロック塀があるということでございます。もちろんそれぞれのおうちの所有の物件でございますので、それをどうしろとかいうことではなくて、そういうことがあるということは、通学路のここにはこういうものがあるのだということ、学校のしかるべき方が十分把握していただいております。既にそういう調査はなさっているのではないかなと推測するのですけれども、日野の街中でも危険箇所があるということでの把握を、それぞれの学校でしていただく必要があるのではないかと思うわけです。これが2点目でございます。

3点目は、教育長から報告いただきまして、6月2日、日野文化懇談会の総会にお忙しい中をご出席いただき、ご祝辞を頂戴いたしました。私も一会員として出席をさせていただきます、ごあいさつを頂戴いたしました中で、つい、その前日の6月1日に参議院本会議で文化財保護法と地教行法の改正が議決されまして、来年4月1日施行ということでスタートしたわけでありまして。

この件につきまして、ごあいさつの中で触れていただいたということで、大変ありがたいことと思うのですけれども、やはり、これからは教育委員会が文化財の保存と活用について地域計画を策定して、そしてそれぞれの地区で責任を持って進めていくと、こういう体制になっていくということでございます。ただ、文化庁も、その計画を策定する指針については、今年度中に指針を示すということをおっしゃっていますので、当町としてもぜひその辺は積極的に進めていただきたいと思いますところがあります。これが3点目です。

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>望主 次長</p> | <p>4点目の図書館長から先ほど言っていました6月17日、内野安彦先生のお話を私も聞かせていただきました。今日まで図書館はいろいろ多彩な、いろいろ工夫して町民の皆さんにPRしていただき、頑張っていたと思うのですけれども、内野先生のお話を聞いて、もっといろいろなことを考えて幅広く考えていったらどうだろうということを指摘いただいたのではないかなと私としては受け止めたわけでございます。</p> <p>町民に親しまれる図書館、教養機関としての役割をきちんと果たしていくという原則に立ったうえでも、柔軟な対応が求められているのではないかなと思ひまして、私としては大変参考になったことでございます。以上でございます。ありがとうございました。</p> <p>1点目の蒲生氏郷の顕彰会につきましては、教育長が来賓で行っていただいたということもあって、ここに載せています。おっしゃるとおり、生涯学習課の部分にもなってこようかと思うのですが、歴史的に、銅像を建てた時の初期の人が教育次長だったので、それからずっとという、なんともわからない理由で、私も顕彰会の会員にもなっていますので、会員の中の事務局員という位置づけでさせていただいてまして、事務局長はちゃんとほかの人が、事務局員ということで教育次長が当たっています。教育長が行っていただいたのであげさせていただきます。申し訳ございません。生涯学習課の事業とは違います。</p> <p>それから、通学路の安全点検でございます。ブロック塀につきましては町長から指示もいただきましたので、その指示に基づいて各公民館施設と学校をさせていただきました。同時に通学路もしないといけないなということは町長からも聞いていました。通学路というのは、各在所で集団登校されますと、会所などに集合して、そこから歩かれるということもあったり、子どもさんの家からそこへ行くまでも通学路になるかもわかりませんので、その辺については字別懇談会などでしたらどうかという話もされていたのですが、時期的に字別懇談会も始まったりしていますが、通学路自体がPTAさんと学校の両方で決めていただくことでございますので、その辺は西村委員さんがおっしゃったとおり、当然知っているということが大事になってくると思います。個人の財産ですから、2m20cmを超えているから何とかしてくださいというのはなかなか言えないところがあるのですが、どの道を子どもが通っている、どういう危険なところがあるかということを知っていることが大事ですので、学校と字のPTAさん等を通じて、何らかの仕組みができればいい</p> |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>日永 課長</p> | <p>なということは考えていますので、校園長会もごございますので、その辺でどういう仕組みづくりができるか検討をさせていただきたいと思えます。問題意識は町長からも言われていますし、私ども持っているところでございます。</p> <p>文化財保護法の改正の関係でござりますが、文化財保護法と言いますと、これまで文化財を守るということが主体になっていたのですけれども、今回の改正で、守ることも当然大事だけれども、守るだけでなく、その文化財を活用してまちづくり・地域づくりに活かしていこうという思いが入ってきます。また国指定文化財の現状変更など許認可の関係はこれまで国主導でやっていたのですけれども、地域計画をきちんと作成した自治体においては、自治体の責任で現状変更などができるよう許認可の一部をおろしていこうという方向があります。文化財に一番近い自治体が思うようにというか、自治体の考えひとつでうまく活かしていけばいいと思うのですけれども、悪く言えば国が責任放棄したというふうにも言えます。これまで文化財については教育委員会部局だったのですが、委員会を設置するという条件つきで、首長部局でもそういうことができるようになります。文化財を観光資源と考え、文化財をお金儲けだけのために保存するというようなことも考えられなくもないです。いずれにしても、日野町内にある文化財は日野町内できちんと守りながら活用していくということは非常に大事だと思います。西村委員さんが言われましたように、地域での保存や活用についての計画をこれからきちんと策定して、それに基づいて保護と活用をしていかないといけないと思っています。</p> |
| <p>高浪 館長</p> | <p>ご意見ありがとうございました。お忙しい中、内野先生の講演会にお出でいただきまして、ありがとうございます。期待よりもちょっと控えめな参加者だったのですけれども、どういう人が来られていたかというのを見ますと、西村さんにもお出でいただきまして、図書館協議会の委員さんもお出でいただいて、あとは三重県鈴鹿市の市議会議員さんとか、高島市で住民運動をやっていたらっしゃるとか、意外と濃い方々に来ていただきまして、緊張感もありました。</p> <p>そんな中で、内野さんはたくさんの図書館を見てこられた経験とか、2つの館で館長さんを務められた経験から、図書館がどういう資料を集められるか、結構自由にいろいろなものを集められるのですけれども、どういうものを所蔵するか、それからどういうふうに利用者にそれを見</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | <p>せていくのかということ、多くの写真を見せていただきながら参考になるところがありました。</p> <p>印象に残った例で言えば、図書館でカフェをというご意見がたくさんあって、どういうふうにしたらそれを導入できるかなと考えているのですけれども、防災自販機を導入している館の例がありまして、これだったらいろいろな意味でいいかもと、あとで職員の間で話し合ったりとか、展示コーナーにしても、どういうものを置くかによって、住民さんから地域の資料とか、もともとの地場産業に関係あるものとか、いろいろなものが出てくるとい、非常に大きな可能性について教えていただきましたので、この間の意見を参考にしながら、もっと自由に、でも教育施設であるという点は押さえながら、いろいろな事業をしていきたいなと思いました。</p> <p>いろいろな視点をご指摘いただきまして、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。以上です。</p>                                                                                                                                                                                                     |
| <p>今宿 教育長</p> | <p>ありがとうございました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>高橋 委員</p>  | <p>先ほど文化財の話が出ましたので、少しお願いしたいことなど申し上げてよろしいですか。日野町は、皆さんご承知のように、氏郷公をはじめ歴史民俗といったものの研究など、さらにそれを子どもレベルにおろしたものの、あるいは学校現場で活用するとか、そういうことが動いていて、いいことだなと思っています。</p> <p>実は、合併の資料によりますと、日野町には、国の天然記念物でいくと非常にダントツに多いのです。例えばシャクナゲとか綿向山の入り口とか、蓮花寺の化石林とかいくつかあるのですが、この夏休みに西桜谷の小学生に、西桜谷の自然のことについて、小学生対象に現地研修みたいなことをしてほしいという要望が公民館からありました。それはいいことだと言って気軽に引き受けてしまいました。一応下見はしましたがけれども、蓮花寺の牛飼道橋というところに約百数十年万年以上前の化石林が、以前ですとたくさん見られたのですが、今、牛飼道橋がああいう形になって、下がブロックになっております。100 数十万年前のメタセコイヤか何か、わかりませんが、そういった木が立ったままで化石になっているのが1か所しかないわけですね。長い間見に行ったことがなかったので、驚いたのですけれども、その橋の上流の方は、頭首口がありますので水が溜まっているわけですがけれども、かなり減っていると。なぜと聞くと、他府県からああいった自然物をチェーンソーを持っ</p> |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>てきて根こそぎ下から切って持って帰ると、そういうことが多々あったという話をこの間聞きました。</p> <p>現実に大きなものが1つ残っていますので、子どもたちにもそういう話をしようと思いますが、それを書いた説明版もかなり老朽化していますし、同じようなことが綿向山の入り口の部分もそうだと思います。歴史関係のこともそうですけれども、いわゆる植物とか化石とか、それから熊野のヒダリマキガヤも有名ですよ、自然関係のものは。歴史の文化財という目ではなかなか見てもらえないかも知れませんが、そういったものが現状どうなっているのかという調査、別所の高師小僧なんかは、少しあるだけで、土地改良のために全くないですよ。そういうものもこれからの子どもたちに伝えていきたいなと思うわけで、こういう話をどこで聞いてくださるのか、生涯学習課で聞いてもらえるのかと思ったりして、また考えていただけるとありがたいと思います。</p> |
| 日永 課長  | <p>高橋委員さんから町内の自然系の資料の保存についてお話いただきました。確かにこれまで歴史系の方は町史編さんもあって積極的に進められてきました。町史第1巻では半分以上を自然系のものが占めています。自然の保護となりますと、法的に保存する法例がありません。自然保護の関係、環境保護の関係でレッドブックとかに登録されているものについては保存する手立てがあるのですが、メタセコイヤの化石などは法的に規制することができません。とはいえ、地域の方にとっては自分の地域の太古の歴史を知る資料になりますので、何とかしなければと思います。</p> <p>説明板につきましては、観光協会と公民館とが共同で設置しており、毎年少しずつですが、老朽化した看板は補修もしていますので、商工観光課に連絡して補修させていただきたいと思います。</p>                                              |
| 高橋 委員  | <p>ありがとうございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 今宿 教育長 | <p>子どもたちだけでなく、幅広い年代層の方たちに目がいくような教材をいろいろな分野で活用していきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>~~~~~</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 今宿 教育長 | <p><b>日程5 議第1号</b></p> <p>提案説明に対してご質問等お願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>西村 委員</p> | <p>ご説明いただきまして、ありがとうございます。私、十分読み込めてなかったのかもわかりませんが、今年1月にこの定例会で質問させていただきました。対象経費の中の(5)の新入学児童生徒の学用品等につきまして、4月1日に入学される、しかし実際にお金が必要なのは3月だと。これについてはどうなのかとお尋ねしましたら、今年3月は無理だと。次に予算措置もしてきちんとするといわれたのですが、今回、今年3月の定例会で予算措置はしていただいたということでございますが、この規則はその部分とどのようなかわりがあるのかということをお教えいただきたいと思っております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>吉澤 参事</p> | <p>説明が前後というか、漏れておりまして申し訳ございません。私も前任から聞かせていただいております、今年度(30年度)の予算の中で、前年度中支給ということをお隣の他の市町も始められているという、全国的な流れの中で、当然入学される前に準備をされますので、その経費が多額にかかるということで、そういった経費を入学後でなく入学前に支給していただくというご意見の中で動いていると聞いております。</p> <p>日野町におきましても、遅ればせながらでございますが、平成30年度の予算の中で、31年4月に入学される小学校・中学校の生徒・児童に対する新入学児童生徒学用品費等につきましては予算化をさせていただきまして、支給を30年度内に支給するように準備をさせていただいております。</p> <p>ただ、若干手続的な部分で、まだ事務局内で議論がしきれてない部分がございます、今回の改正の中では、前年度内支給についての規則改正をこの中にうたい込んでございません。大変恐縮ですけれども、この規則の改正につきましては、秋までの委員会の中で再度、前年度支給の部分につきましての改正を提案させていただきたいと考えておりますので、そこの説明が漏れておりまして申し訳なかったのですけれども、ご理解いただきたいと思いますと思っております。</p> <p>今回の改正につきましては、何度も申し上げますが、月途中の児童生徒さんの給食費につきまして、実際のところ6月にそういう対象の子どもさんが転入されるという状況でございますので、何とかそういうところで今回の規則の改正に間に合わせさせていただいたということでございますので、ご理解いただければ幸いです。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 西村 委員 | <p>そうすると、ただいまの件につきましてはもう1回、年度内に改正の提案があるということですね。わかりました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 高橋 委員 | <p>西村委員さんの質問と重複するかもわかりません。もう1つは意見を申し上げたいと思います。</p> <p>私は、日野町要保護……の規則の改正、こういった規則の改正というのは非常に重要だと思っています。やはり「規則」というところに該当する個々の方々にとってみたら一番関心が深いと思っています。</p> <p>そうであるなら、またこの改正がなされるということですが、普通ですと、こういった規則を改正するのは前年度年度末あたりに相当議論して、そして新年度に入ってから施行していくというのが一般論かなと思いますけれども、今お話を聞いていると、以前にもこういう話があったかなと思います。今回は特段、改正案では医療費のところは住民課の管轄で議論するように移されるということになるわけですね。住民課も入れて庁内で議論された結果が、ここのプリントとして出ているのだろうと私は解釈をしています。</p> <p>もう1つの点は意見ですが、私も偉そうなことは言えないのですが、事前にいただいて、あっと気づいた点が1点ございます。1ページ目もほかもあるのですが、給付対象経費の中に(6)PTA会費(学習支援費)とあります。「PTA会費」という文言をここで入れるのは不適切だと私は思います。</p> <p>PTAは、学校側からすれば皆さんに入っていただきたい組織ですが、法的には任意団体でございます。それは十分おわかりだと思います。その団体に対しまして、結果的にはそういうふうになるのだろうと思いますけれども、こういった規則に任意団体のPTA会費という文言を入れるのは、どこか法に抵触する恐れがあるなと感じておりますし、少しネットで調べて見ましても、それは違うというようなことがありますので、幸い後ろに学習支援費とありますが、「PTA会費」という文言を消していただきたいなと思います。</p> <p>その理由は、今言いましたように、PTA組織そのものが任意の団体ということですので、そこに税金を投入するというのは筋が違うなということでございます。ただし、後ろに学習支援費と書いてありますから、そこら辺の言葉を上手に利用していただけたいのではないかなというのが私の考えです。お願いします。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 吉澤 参事 | <p>2点、医療費の部分についてとPTA会費という文言についてということでご意見いただいたかと思います。</p> <p>まず、医療費につきましては、町の支援制度と言いますか、制度の中でマル福の医療費制度ということで小学生・中学生学歴までの医療費につきまして、窓口負担をなくすということを日野町ではさせていただいておりますので、その制度をさせていただくということで、要保護・準要保護の援助費の支給規則に基づく支給ということは一切なくなったということがございますので、そういう部分も町が支援するということになるというのは、マル福の制度の中で当然あるということは知ったうえで、制度の改正を町として制度設計をしていますので、そのことで今回こちらもそれに合わせていく改正だということをお願いしたいと思います。</p> <p>それから、PTA会費という文言についてご意見いただきまして、確かにカッコ書きで学習支援費という形で書かせていただいておりますので、そちらをメインに出していくということも可能かなということで、これは今後のご議論の中でさせていただきたいなと思いますが、町としての考え方でございますが、あくまでこれも要保護につきましては生活保護受給者の方ということで、県の福祉サイドの制度という形でさせていただいておりますし、準要保護児童生徒の就学援助費という形については、国が今までしておりますが、三位一体改革の中で税源移譲の中で市町村がしていくと。一般財源化という形の中でさせていただいておりますので、あくまで国の今までやってきた制度を準用してやらせていただくということの中で、国からも一定の基準が示されておりますので、その中で補助対象品目につきまして、学用品その他ずっとあがっています中で、PTA会費という形で国もあげております。</p> <p>それから、一定、まちが支援制度をする中で、県からの補助金をいただく中の補助金の費目の中でも、PTA会費という文言がございまして、その単価をいくらにして、そのうちの何分の1を補助するというふうな補助要綱が出ているものがございますので、これに準じた形の規則の文言整理をさせていただいているというところがございますので、この点についてはご理解いただきたいと思います。</p> |
| 高橋 委員 | <p>ありがとうございました。ただ、1点目の医療費のところにつきましては、住民課主導でそういう制度設計をつくったので、この規則は省略してもよいということなんだろうなと理解しました。</p> <p>2つ目ですが、私はやはりここにPTA会費という文言を残すことは</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>望主 次長</p> | <p>納得できません。P T A会費（学習支援費）あるのですが、何かよい言葉に置き換えてほしいと思います。</p> <p>根拠は、P T Aは任意団体であるということからして、そういうふうを考えます。以上です。</p> <p>今、吉澤が申しました生活保護を受ける方と準要保護、国の制度にも明確に「P T A会費」というのが載せられていますし、県の準要保護の規定にもうたわれていますので、問題はないかと思っております。</p> <p>生活保護でも書いていますので、それを準用する準要保護は市町がしますので、そこに書いてあるので、それは違法性はないかなと事務局としては思っています。</p>                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>高橋 委員</p> | <p>そうおっしゃいましたけれど、今こういう時代の中で、こういう規則の読み方とか、どういうことに使うとか、非常の敏感な時代になっていると思うのです。今おっしゃった大元のところでは確かにそうであると思いますけれど、一般の方々の中で、それでいいのと言われた時に、私自身としては、私もそちら側にいた時もありますが、P T A会費というのは、繰り返しになりますが、後ろにカッコ書きで学習支援費とありますけれども、P T A会費を違う言葉に置き換えたいというのが私の主張で、変わりません。以上でございます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>西村 委員</p> | <p>私の意見は、高橋委員さんのご意見を承りまして、確かにP T Aというのは任意団体であることは明確でございますし、おっしゃることは適切でございますけれども、そもそもP T Aができた歴史的な経緯とか、1つの時代のその時の状況の中でそれができてきた流れと、そしてそのP T Aが果たしていくべき役割、どういう機能をもってそれが組織されて、それがどういう方向で期待されて活動しているかということで、1つは判断をしないといけない部分があると違うかなと私は思うのです。</p> <p>当然、任意団体ですから、入りたい方は入られ、またどうしても入らない人は入らなくてもいいという、当然そういうことであろうと思えますし、そこは尊重しつつも、この該当者に当たる方、保護者の方が私はP T Aに入って活動すると言って会費を納められたら、その分を就学援助の1項目として負担することについては、私はいいことではないかと思うのです。その団体に加入をするかしないか、その自由を保障するという問題と、現にその方がよかれと思って入られて、現に会費を払われるのだということだったら、それを支給してあげるということは、私は間違</p> |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>いではないという意見でございますので、自分の意見として申し上げておきたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 高橋 委員  | <p>私は何も内容的に否定しているわけではないのです。文言の問題を言っているわけです。今はもうこういう条例とか規則とかは、一般市民の方が見る機会が度々あるわけですが、多くの場合、どんな文言が使われているか、その意味がどうなのかということ、突いてこられる方は突いてこられると思うわけです。「学習支援費」と後ろに書いていますので、その辺を上手に、私も適切な言葉が浮かばないのですけれど、「PTA会費」に代わる言葉を、中身は否定していないのですけれど、規則の中にはやはり、国・県がそうであったといたしましても、そのようをお願いしたいなと思っております。</p>                            |
| 望主 次長  | <p>国の就学援助制度の中にも、生活保護の方について補助対象項目の中に「PTA会費」は入っています。そのほかにも生徒会費とかクラブ活動費も入っています。クラブに入っている方も入ってない方も含めて、クラブ活動費もPTA会費も生徒会費も書いています。</p> <p>PTA会費は多分、学校と保護者が1つのことをやっていくというのが当然のことになっているので、学校教育についての経費ということでのPTA会費です。国の補助対象項目としてはあがっているのですが、文言に対する高橋委員さんのお考えもありますが、事務局としてはわかりやすいようにPTA会費（支援費）という中で対応させていただきたいなという思いです。</p> |
| 高橋 委員  | <p>私はそういうふう意見を持っているということですので、ここで表明させていただきます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 今宿 教育長 | <p>現実的にはPTA会費は、任意ということではいろいろな考え方も入ってはきていますが、日野町ではほとんどすべての方が加入して下さるという状況です。そして、就学援助費の中でPTA会費というのは支給されているというのも、これまでずっとされていたということで、今後もそれはしていきたいという思いがあるわけですね。</p> <p>ただ、高橋委員さんのおっしゃるように、このメニューの中にあえて文言として入れていいのかというご意見だと思われませんが。</p>                                                                                |
| 山田 委員  | <p>私も今回この規則改定について、PTA会費がピックアップされてい</p>                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | <p>たので、私もあれっという感覚はありました。ここにPTA会費を入れるのはおかしいのではないかと思います。</p> <p>国も県もPTAとなっているので、それに準じて書いていますという説明を受けましても、疑問に思いました。また、そういう気持ちがある人がいるということも確かだと思います。</p> <p>PTA会費に代わる言葉があるわけではないのですが、「PTA会費」の文言を入れないと、第2条(6)の文章は成り立たないと思われます。しかし疑問を持っている人がいるということは知ってもらいたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>今宿 教育長</p> | <p>ほかにも何か所かありますね。1ページ目の下から2行目も、2ページ目も。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>西村 委員</p>  | <p>私の個人的な意見をまた申し上げて恐縮なんですけど、PTAというのは、誕生してから70年ほど、実際の活動しておられる方にも、役員さんが大変だとか、現実にはいろいろ行ってくる矛盾があると。家庭においても共働きとか、いろいろな条件の変化、外側が変化している部分があって、PTA自体が非常に活動が矛盾している部分はあると思うんですけども、私は逆にPTAというのがちゃんと最初のスタートの原点に基づいて、何のためにPTAはできたのかということをもう1回考え直して、その再建を図ることが必要だと思うのです。参加されている会員の方々が十分な力を発揮できるような組織にしていくと、そちらの方に力を入れていくべきであって、というのはコミュニティの崩壊とか、地域でも町内会に入らないとか、いろいろな問題が起こってきている。いろいろなところが言わば無縁社会になってきている。言葉が極端かもわかりませんが、地域社会が崩壊しつつある。</p> <p>ただ、学校と子どもさんの保護者の方、まだそこには子どもというつながりが重要な部分であるのです。そこをもっと大事にして、ペアレンツもティーチャーも一緒に、学校をよくしていこうということでやって行ってもらわないとダメなわけで、それが一番期待されている部分です。できればそれを支援する方の意見でちゃんと中身を充実させてほしいと思うのです。いろいろな矛盾はあるけど、そちらばかりに目をやっていたら、地域社会でもそうなんです。祭りはやめておこうとか、そういうしきたりはやめておこうとか、止めた結果がどうなるのかなと思ひまして、そういうことではなくて、大切にすることはしていくという原点を、PTAに限らずすべてのことについて考えていかないといけない</p> |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | <p>というのが私の意見です。差し出がましいことを申しましたが、任意団体であり加入の自由があるということは、そのとおりだと思っただけの意見だということで、ご理解いただきたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>今宿 教育長</p> | <p>ありがとうございます。西村委員さんがおっしゃっていただいたことをよく考えてみますと、PTA活動も、クラブ活動も対象にあがっているということは、そのことを通して教育的な価値があるということを考えて上で、そうした活動に対して補助をしていきたいと思いますというところがうたわれていると思います。高橋委員さんからは、文言上でここにあげていくことは大丈夫なのかというご意見をいただいたわけでありませけれども、そういう意見をいただいた時にも、理論的に説明しきれないというものをちゃんと持っていて、ここを残すと説明責任を果たすことが大事です。実際に援助させていただくということですが、3～4か所ございますので、よろしくお願いします。</p> |
| <p>今宿 教育長</p> | <p>また秋までに新入生のお子さんについての支給については、ここにまた加筆していく必要があります。ただ、本日ここでご協議いただいて、承認いただき、6月には支給するようにしたいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>高橋 委員</p>  | <p>冒頭で言いましたけど、新年度のスタートの時に、日野町要保護……の新しいバージョン、この規則は年度途中から施行とか、年度初めはなかなか現実的に難しいのですね、今のお話を聞いていると。</p>                                                                                                                                                                                                                            |
| <p>望主 次長</p>  | <p>今までのものでも別段、よいことはよいと思うのですが、ただ、今出てきた事例を少し改善して議題にあげようと思うと、このような制度、月割りを日割りに変えるとか、そのようなことをさせていただいた方が、たまたま福祉医療のことが3月議会で決まりましたので、今まで小学校3年生まで、6年生まで、そして中学生までと、段階的に福祉医療の上限を取っ払って上がってきたのです。中学校に今やったので、ようやくこの文言が取れるということになったので。</p>                                                                                                  |
| <p>高橋 委員</p>  | <p>丸ごといくという意味ですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>望主 次長</p>  | <p>中学3年生までは福祉医療で対応すると。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>高橋 委員</p>  | <p>段階的にあったのを、もう一括で。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>望主 次長</p>  | <p>段々制度が大きくなってきて、6年生だったのが今は中学校まで広がってきたと。義務教育の間は全部これでいけると。福祉医療でいけると。</p> <p>それと、今転入して来る子どもさんが準要保護、その子が給食費が月割りだと、6月2日に入ってきた場合ひと月分払わないといけないことになるので、その辺を日割りにすると。遡及ということもあるのですが、よい方なので、6月の教育委員会でお認めいただければ、6月から適用するので、その分をできると思っている、今のタイミングです。議案を出して、教育委員会で承認していただけたら、この制度でいきたいと。</p> <p>P T Aという文言については、文言だけでそれを外しましたというのはまたいろいろな問題があるかと思えます。国の方ではそれを明確に書いていますし、外してしまって、もし使ったら、それまた問題になるかもわかりませんし、その辺のところもしっかり考えていかなければならないとは思いますが、今回提案させていただいているのそのようなことで、制度も変わって来たとし、日割りですべていただく方が、その方も適用されていいのかなと思ひまして、議案としてあげさせていただきました。</p> <p>年度の途中とか、正確に言ったら4月1日からというのが一番良いのですが、良いことは早くやらせていただいた方が影響も大きいので、そういうことはあるかと思ひます。</p> <p>ただ、予算に絡むことは、急にもできないので、新年度予算として30年度に確定して、それから制度設計を考えると、来年4月に入られる子どもさんたちについては、先に入学準備金をお渡しできるようになりますので、予算と要項が合致するときれいに4月からできます。</p> |
| <p>高橋 委員</p>  | <p>ありがとうございました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>今宿 教育長</p> | <p>ありがとうございました。貴重なご意見を頂戴いたしまして、またしっかりと、もう少し勉強していく必要があると思っております。</p> <p>~~~~~</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日程6 今後の予定</span></p> <p>質疑なし</p> <p>~~~~~</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

|         |                                                                                                                               |         |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 今宿 教育長  | <table border="1"><tr><td data-bbox="440 273 644 304">日程7 その他</td></tr></table> <p>ありがとうございました。<br/>以上を持ちまして、6月定例会を終了します。</p> | 日程7 その他 |
| 日程7 その他 |                                                                                                                               |         |